



NiceForm ユーザーガイド (EasyForms)

日本語版

Rev-1312

© 2014 Euro Plus d.o.o. All rights reserved.

Euro Plus d.o.o.
Poslovna cona A 2
SI-4208 Šenčur, Slovenia
tel.: +386 4 280 50 00
fax: +386 4 233 11 48
www.nicelabel.com
info@nicelabel.com

目次

目次	2
このマニュアルについて	3
表記の意味	4
Front-end Application Generator へようこそ	5
フレームオブジェクトの作成	6
イメージオブジェクトの作成	7
文字オブジェクトの作成	8
タブオーダー	9
拡張タブ	10
外観タブ	11
背景タブ	12
説明タブ	13
フォームのプロパティ	14
フォームタブ	15
ウィンドウタブ	16
位置あわせ	17
サイズ	18
オンラインサポート	19

このマニュアルについて

製品とサポート体制に関する注意事項: このマニュアルおよびドキュメントの内容は、複数の製品、および言語で共通となっています。内容については、お使いの製品に合わせて読み替えてください。国および地域によって、取り扱い製品、名称、機能、バージョン、およびサポート体制には違いがあります。最新の情報は、製品の Web ページ、または製品カタログを参照してください。取り扱いの無い製品のユーザーサポートはお受けできません。

ユーザーガイドには、以下の章があります:

入門: この章では、ソフトウェアの概要を説明しています

アプリケーションの設定: アプリケーションのセットアップと、より便利な設定方法を説明しています

フォームのデザイン: どのようにフォームをデザインするか説明しています。アプリケーションに慣れるまでは、定期的にこの章を参照してください。本章の情報をを使用することで、効率的にソフトウェアを使用できるようになるでしょう

表記の意味

太字 は、メニュー項目、または OK のようなボタンを表します。

斜体 は、オプション項目、読み取り専用、またはフォルダのような追加項目を表します。

<と> で囲まれた文字は、<Enter> キーのようなキーボード入力を表します。

[と] で囲まれた文字は、変数名です。

Front-end Application Generator へようこそ

Front-end Application Generator は、データの入力と印刷を容易にするアプリケーション作成ソフトウェアです。Front-end Application Generator を使用すると、プログラミングの知識を必要とすることなくデータ入力アプリケーションを作成することができます。Front-end Application Generator で作成したアプリケーションは、主要な 32ビットと 64ビットのMicrosoft Windows オペレーティングシステム上で動作します。

Front-end Application Generator で作成したアプリケーションを使用すると、データを簡単に入力し、NiceLabel で作成したラベル上の変数やデータベース変数に書き込むことができます。ラベルをデザインした後にフォームのデザインボタンをクリックすると、Front-end Application Generator が起動してユーザーインターフェイスのデザインを開始することができます。

この機能を使用すると、ユーザーが偶然ラベルデザインを壊すことが無くなります。そしてデータの入力が極めて簡素化されます。実際の印刷は NiceLabel で行われますが、ユーザーがアプリケーションを見ることは無くなります。

フォームの雛形は、デザインしたラベルを元に自動生成されます。

フォームには2つの実行モードがあります: インターフェイスをデザインするデザインモード、およびデータを入力する実行モードがあります。

フレームオブジェクトの作成

フレームオブジェクトを作成するには、以下の手順を実行します:

1. ツールバーの  Frame アイコンをクリック

ノート:
オブジェクトメニューのフレームメニューコマンドでもアクセスできます

2. フレームを配置する場所をクリックしてください
3. マウスボタンをクリックして離すと、既定のサイズで配置します。マウスボタンをクリックしたままドラッグすると、フレームのサイズを変更して配置します

ノート:
フレームのプロパティを変更するには、フレームをダブルクリックしてください。フレームの配置をキャンセルするには、配置を確定する前にキーボードのESCキーを押してください。

イメージオブジェクトの作成

イメージオブジェクトを使用するには、以下の手順を実行します:

1. ツールボックスの  アイコンをクリックします

ノート:
オブジェクトメニューのイメージメニューコマンドでもアクセスできます

2. イメージを配置する場所をクリックしてください
開くダイアログボックスが表示されます
3. 使用したいイメージファイルを選択してください
4. 開くボタンをクリックして、イメージを配置します

ノート:
イメージのプロパティを変更するには、イメージをダブルクリックしてください。イメージの配置をキャンセルするには、配置を確定する前にキーボードのESCキーを押してください。

文字オブジェクトの作成

文字オブジェクトを作成するには、以下の手順を実行します:

1. ツールボックスの  アイコンをクリックします

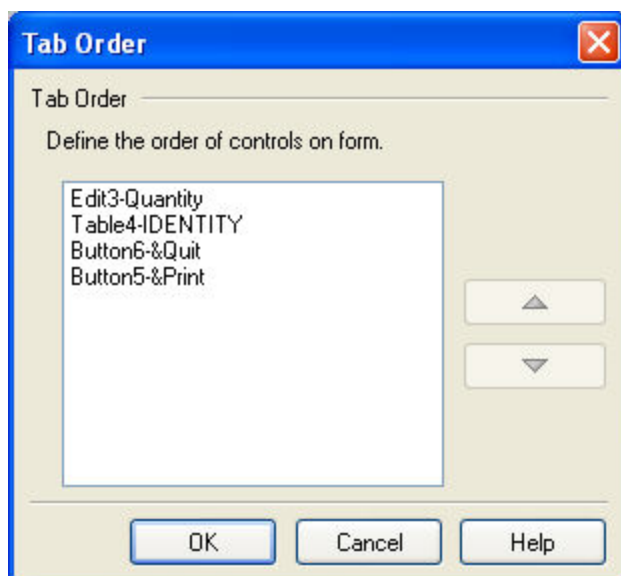
ノート:
オブジェクトメニューの文字メニューコマンドでもアクセスできます

2. 文字を配置する場所をクリックしてください
オブジェクトプロパティダイアログボックスが開きます
3. 文字オブジェクトのプロパティを設定し、OK ボタンをクリックします

ノート:
文字のプロパティを変更するには、文字をダブルクリックしてください。文字の配置をキャンセルするには、配置を確定する前にキーボードのESCキーを押してください。

タブオーダー

タブオーダー コマンドを使用すると、入力項目のタブオーダーを変更することができます。入力項目にフォーカスがある場合にキーボードのTABキーを押すと、リストの上から順にフォーカスが移動します。



タブオーダー

上下の矢印ボタンでタブオーダーを入れ替えます。

拡張タブ

フォームのセキュリティ機能を設定します。

フォームのロック: このオプションを有効にすると、フォームの修正ができなくなります。不用意な編集からフォームを保護することに役立ちます。パスワード保護も有効にすると、スクリプトデータの暗号化も行われます

キーボード: このオプションを有効にすると、Front-end Application Generator はEnterキーの惜しさをTabキーの押し下げと同様に扱います。入力項目の移動に便利です

ノート:

パスワード保護は、フォームの編集確認に使用されるだけです。パスワードを有効にしてもフォームの実行は可能です。

外観タブ

位置とサイズ: このオプションを設定すると、実行環境におけるウインドウの位置とサイズを設定できます。既定のウインドウの位置とサイズは、デザイン時の位置とサイズです。デザイン環境と実行環境が異なることは多いので、このオプションを指定すると良いでしょう。

以下のオプションがあります:

- **デスクトップの中央:** デスクトップの中央にウインドウを表示します。マルチモニターシステムでの実行も考慮されています。プライマリモニターの中央ではないので注意してください
- **スクリーンの中央:** プライマリモニターのスクリーン中央にウインドウを表示します
- **定義位置:** プライマリモニターの定義位置にウインドウを表示します
 - X: 水平方向座標値です
 - Y: 垂直方向座標値です

ノート:

X と Y オプションは、"定義位置" モードでのみ使用できます。座標原点はウインドウの左上隅です。

- **幅:** ウインドウの幅です
- **高さ:** ウインドウの高さです

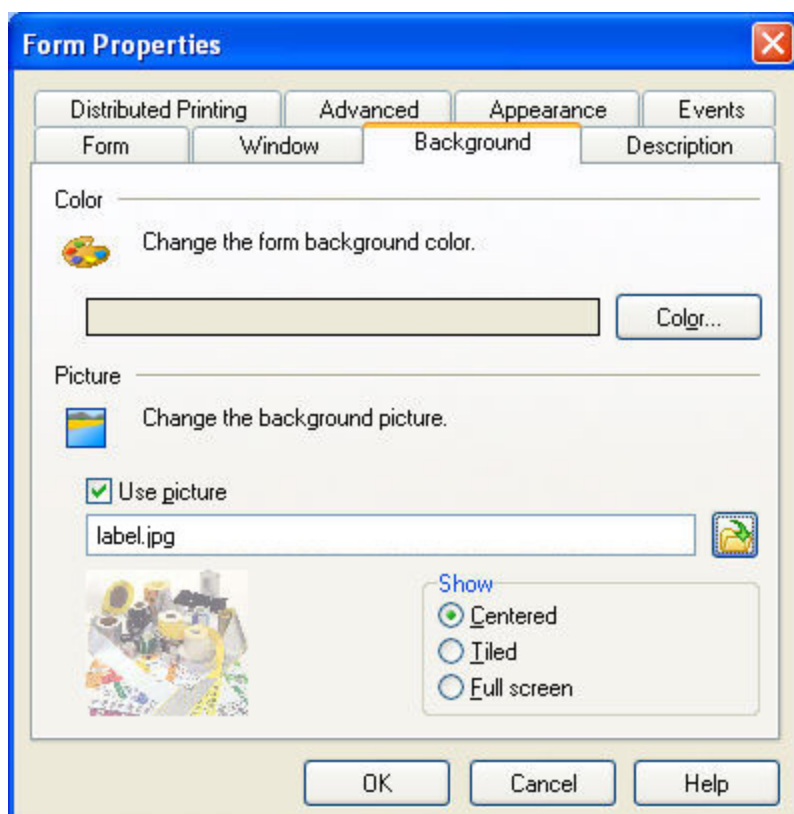
ウインドウの状態: 実行開始時のウインドウ状態を指定します

- **最大化:** スクリーン一杯に最大化して表示します
- **通常:** デザイン時のサイズで表示します

ノート:

最大化を選択した場合は、ウインドウサイズを変更することができません。

背景タブ



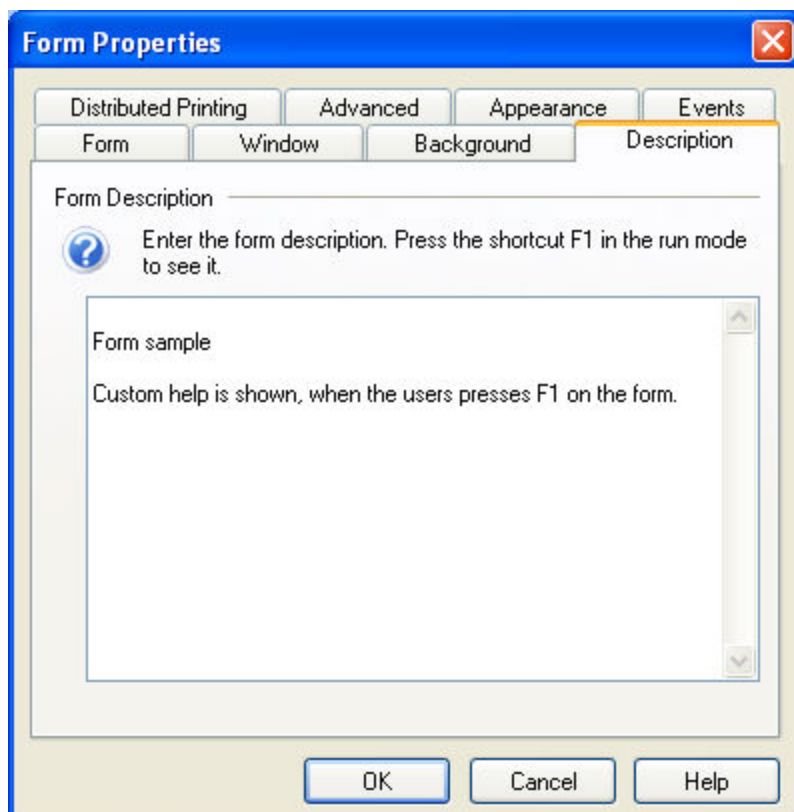
フォームのプロパティ: 背景タブ

色: 背景色を変更します

イメージを使用: 背景イメージを変更します。イメージの座標も設定することができます

フォームに埋め込む: このボタンをクリックすると、イメージを .xiff フォームファイルに埋め込みます。イメージファイルを添付せずにフォームファイルを配布することができるようになります

説明タブ



フォームプロパティ: 説明タブ

このタブでは、フォームの情報を入力することができます。

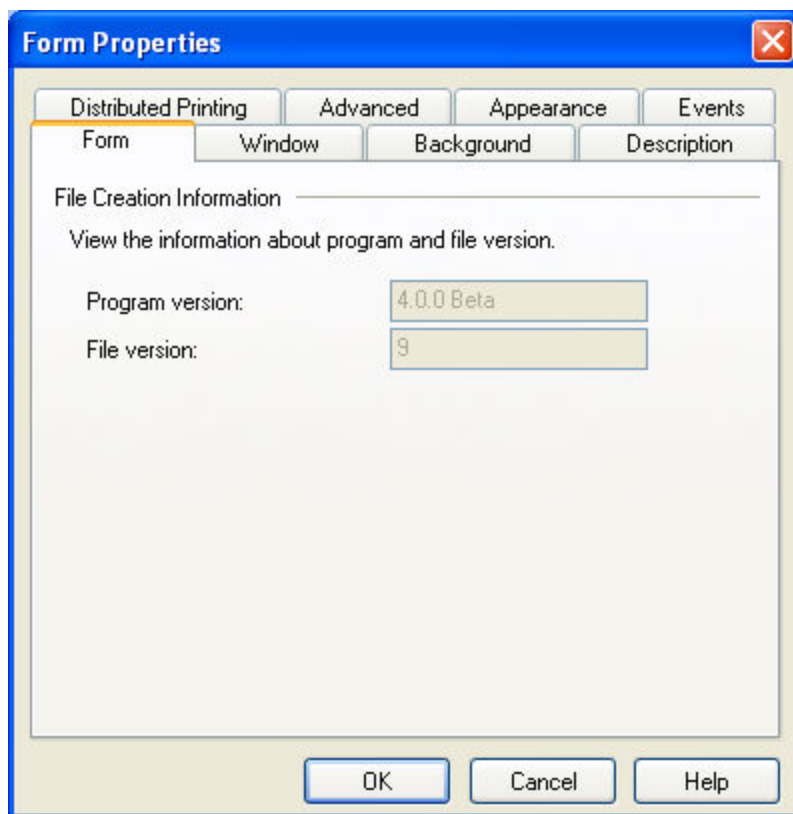
ノート:

入力した情報を表示するには、<F1> キーを押して実行モードに移行してください。

フォームのプロパティ

このメニューのコマンドは、フォームの設定を行います。

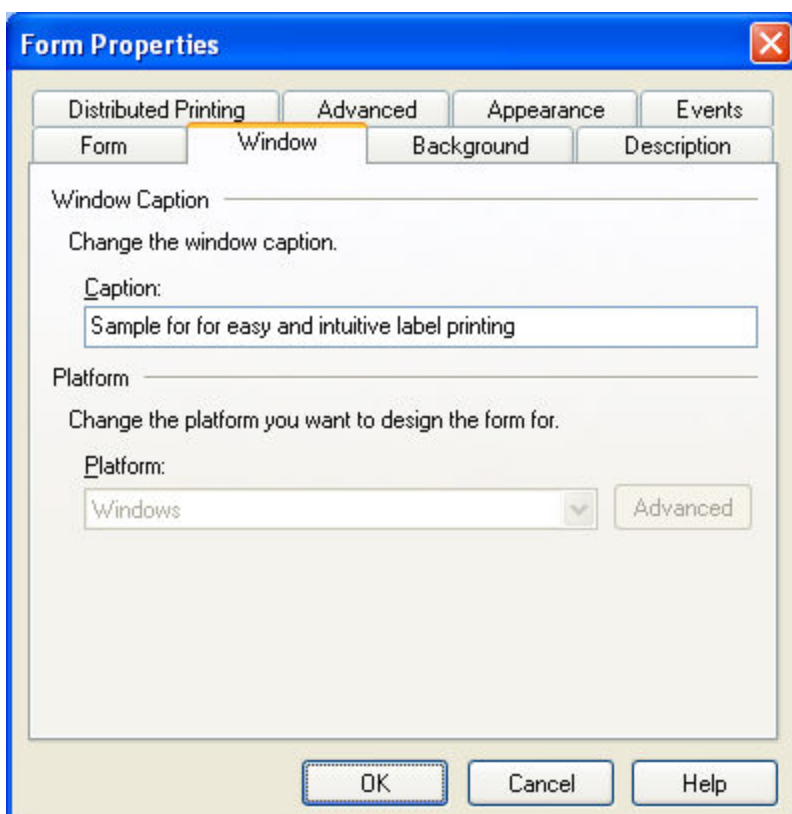
フォームタブ



フォームのプロパティ: フォームタブ

ファイル作成情報: このフォームを作成したアプリケーションの情報で、自動的に埋め込まれています。問題が発生したとき、解決の手がかりとなります

ウインドウタブ



フォームのプロパティ: ウインドウタブ

ウインドウキャプション: ウインドウキャプションを設定します。最上位のキャプションバーに表示され、通常アプリケーションの名前などを付けます

プラットフォーム: 作成するフォームのプラットフォーム(実行環境)を指定します。新規作成時のみ指定が可能で、既存のフォームの設定を変更することはできません。以下の選択肢があります:

- **Windows:** 通常のWindowsアプリケーションとして作成します。ウインドウのサイズを設定することができます
- **Windows モバイルデバイス:** Windows CEモバイルデバイスアプリケーションとして作成します。選択したデバイスに適したフォームサイズで作成されます

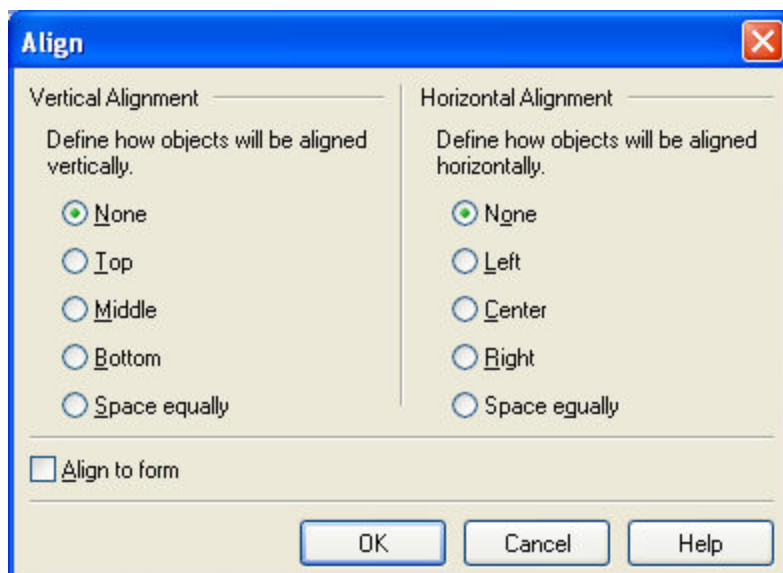
ノート:

プラットフォームの選択は、手動でフォームを作成した場合にのみ設定可能です。Windowsモバイルデバイス向けアプリケーションを作成するときは、フォームウィザードを使用しないでください。

ノート: 日本国内においては Windows CEモバイルデバイス自体が終息しており、ハードウェアの入手自体が困難です。

拡張: Windows CE モバイルデバイスを選択したときのみ使用可能で、選択したWindows CE モバイルデバイスの印刷設定を変更することができます。

位置あわせ



位置あわせダイアログボックス

このダイアログボックスは、選択したオブジェクトをどのように配置するか決定します。他のオブジェクトに対して相対、またはフォームに対して絶対位置で指定できます。

水平位置あわせは、オブジェクトの水平位置を右端、中央、または左端を基準に配置します

垂直位置あわせは、オブジェクトの垂直位置を上端、中央、または下端を基準に配置します

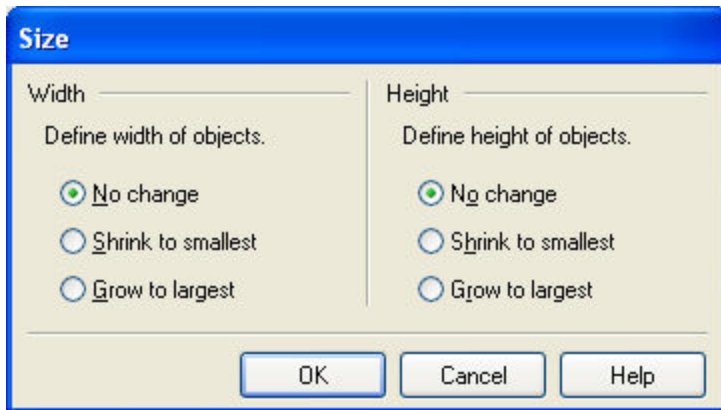
水平、または垂直位置あわせには、以下のオプションがあります：

なし	選択したオブジェクトの位置を変更しません
左	選択したオブジェクトの左端で整列します(水平のみ)
中央	選択したオブジェクトの中央で整列します
右	選択したオブジェクトの右端で整列します(水平のみ)
上	選択したオブジェクトの上端で整列します(垂直のみ)
下	選択したオブジェクトの下端で整列します(下平のみ)
等間隔	選択したオブジェクトを等間隔で整列します

フォームに位置あわせ: フォームに対して相対に整列します

ノート:
最初に選択したオブジェクトが位置の基準となります。

サイズ



サイズダイアログボックス

このダイアログボックスでは、選択したオブジェクトのサイズを変更します。

変更しない	選択したオブジェクトのサイズは変更しません
最小に合わせる	選択したオブジェクトの中で、最小のサイズを持つものに合わせます
最大に合わせる	選択したオブジェクトの中で、最大のサイズを持つものに合わせます

オンラインサポート

このマニュアルおよびドキュメントの内容は、複数の製品で共通となっています。内容については、お使いの製品に合わせて読み替えてください。国および地域によって、取り扱い製品、名称、機能、バージョン、およびサポート体制には違いがあります。最新の情報は、製品のWebページ、または製品カタログを参照してください。取り扱いの無い製品のユーザーサポートはお受けできません。

より詳しい情報は、以下を参照してください:

- **サポート** FAQ: www.nicelabel.com/Support/FAQ
- NiceLabel Support: <http://www.nicelabel.com/support>
- NiceLabel **入門**: www.nicelabel.com/Learning-center/Tutorials
- NiceLabel **フォーラム**: forums.nicelabel.com